

第4回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成28年8月10日（水）18:00～19:15

会場：南部市民センター なんびあ

参加人数：38名

メインテーマ：「生き生き」と暮らすために～一歩進んだ地域リハビリ～

サブテーマ：廃用症候群に対する訪問リハビリテーション～早期集中リハビリにより、短期間でADLが向上した一症例～

平成28年2月から開催しております「なんケアの会」は、今回で4回目を迎えました。第1～3回は「地域包括で認知症を支える」をメインテーマとして行いご好評いただきました。今回からはメインテーマを『「生き生き」と暮らすために～一歩進んだ地域リハビリ～』とし、回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟・ディケア・訪問リハビリを有している当院ならではの勉強会を開催していきたいと思っております。

さて、今回も地域包括支援センター、介護支援事業所関係、医療機関関係者、調剤薬局等、計38名と地域の幅広い職種の方にご参加いただきました。テーマを「廃用症候群に対する訪問リハビリテーション」と題し、当院院長の皆河崇志先生と訪問リハビリ担当の佐藤貴子さんを講師として迎え、お二人が担当した症例についてご講演いただきました。

近隣の地域包括支援センターより「歩けない方がいる」と連絡をいただき、当院よりさっそく往診を実施。診察の上、とりあえず訪問リハビリを開始すると判断をしたところ、順調に回復し現在はディサービスも利用するようになったという方についてのご紹介でした。訪問リハビリについても開始時の問題点と初期対応、実生活に沿った計画・具体的な介入方法について、詳細にご説明いただきました。また事前に受け付けたリハビリに関する質問に対してQ&Aコーナーを設け、当院リハビリ科小林佳美先生よりご教示いただきました。

参加者の皆様からは「自分が担当しているケースと似ているため、とても参考になりました。」「利用者が望む生活を実現するために、生活にマッチしたリハビリを行って、ご本人の意欲向上につながって素晴らしいと思いました。」「生活環境を考えた中での事例であり、訪問リハビリのサービス内容を改めて知る時間となりました。」と訪問リハビリについての理解を深めていただけたようで大変嬉しく思います。

今後も引き続き、地域連携の一環として地域の施設や在宅ケアに携わる方が気軽に参加でき、実践に役立つ研修会にできるよう尽力してまいりますので、ご指導ご支援頂きますようお願い致します。